

図画工作科学習指導略案

3年2組 32名 指導者 福島 光二

1 題 材 アートたんけんたい ～ お気に入りのアートを見付けよう ～

2 指導計画 (総時数 4 時間)

過程	主 な 学 習 活 動【評 価 規 準】	時
思いをもつ	1 教科書などを見て、身の回りにある面白い形や色、構成について興味をもつ。 教科書の写真や教師が撮影した写真から、普段見慣れている風景の中に、面白い形や色、構成が隠れていることを想像させる。 【関：身の周りにある形や色、構成の面白さを見付けることを楽しもうとしている。】	2
思いを膨らます	2 学習のめあてをとらえる。 学校にかくれている、自分のお気に入りのアートを見付けよう。 3 学校に隠れている自然や人工物などから面白い形や色、構成を探し、写真に撮る。 いつもとは違う見方をして、面白い形や色、構成のものを探しに行くよう提案する。探す範囲や集合時刻を確認する。 【想：様々な形や色を発見するように、見る距離や角度など、景色や対象物の見方を考えている。】 【技：形や色、構成の面白さがよく表れるような写真の写し方を工夫している。】	
自他ののをよさ現にす	4 撮影した写真についてワークシートにまとめ、作品名クイズ大会の準備をする。 ワークシートを活用することで、見付けたものに対する思いや気づきをより深く味わえるようにする。 【鑑：見付けたものの形や色、構成の面白さなどを感じ取っている。】 5 グループで作品名クイズ大会を行う。 グループで撮影した写真を囲み、形や色、構成の視点をもとに作品名を考えさせるようにする。 【鑑：見付けたものの形や色の面白さなどを感じ取っている。】	
付・く	6 みんなが見付けたものをテーマごとに仲間分けし、そのよさや面白さを味わう。 学級全体で見付けたものをテーマごとに仲間分けすることで、その面白さやよさを味わうことができるようにする。 【鑑：友達と話し合いながら、お互いが見付けたものの形や色、構成の面白さをとらえている。】	1 (本時)
を新もた		1
つな思い		

3 本 時 (3/4)

(1) 目 標

自分が見付けたものに対する思いや気づきをワークシートにまとめたりグループで話し合ったりすることを通して、形や色、構成の面白さを深く味わうことができるようにする。

(2) 評価規準

見付けたものの形や色、構成の面白さなどを感じ取ろうとしている。

友達と話し合いながら、お互いが見付けたものの形や色、構成の面白さをとらえようとしている。 【鑑賞の能力】

(3) 指導に当たって

これまでに子どもは、友達と一緒に学校内を回りながら、身近な環境に興味をもち、そこから面白い形や色、構成を見付け出し、デジタルカメラで撮影してきている。本時では、見付けたものに対する思いや気づきをワークシートにまとめさせ、グループで話し合わせることで、形や色、構成の面白さを味わわせることができるようにする。

思いをもつ過程では、教師が準備した写真を紹介し、子どもに自由に感じたことを発言させ、進んで話したり、作品名を考えさせたりすることで友達の思いを聞いて喜べるような温かい雰囲気づくりをする。

思いを膨らます過程では、見付けたものに対する思いや気づきをワークシートにまとめさせたり、作品名を考えさせたりすることで、自分が見付け出した形や色、構成の面白さを味わうことができるようにする。

思いを表現する・自他のよさに気付く段階では、題材について話し合わせたり、ホワイトボードに自分の考えた作品名を書かせたりすることで、自分と異なる友達の捉え方を知らせ、形や色・構成の面白さをより深く味わわせる。

新たな思いをもつ過程では、本時の学習で思ったことや感じたことを発表させながら、次時の活動への期待感をもたせる。

(4) 本時の展開

[] 子どもの意識

指導・手立て

※ 評価

時 (分)	過程	主な学習活動と教師の指導・手立て、評価
5	思いをもつ	1 教師が見付けたものの写真を見て、気付いたことを発表する。 2 ワークシートを見て、学習のめあてを捉えるとともに、学習の見通しをもつ。 作品名を当てるクイズ大会をしよう 感じたことを子どもに自由に発言させることで、進んで話したり、友達の思いを聞いて喜べるような温かい雰囲気づくりをする。 色について見付けたものの写真も紹介することで、色について見付けたものへの作品名も考えられるようにする。
15	思いを膨らます	3 撮影した写真について気付いたことなどをワークシートにまとめながら、自分のイメージをもつ。 ・ワニが隠れていたから「ワニさんのかくれんぼ」にしよう。 ・いろいろな色の木が集まっているから「おしゃれな山」にしよう。 ワークシートには、撮影した写真とともに、「どこで見付けたのか」「よく見るとどう思ったのか」「撮影したものに名前を付ける」などの項目からまとめさせるようにする。
20	思いを表現する ・ 自他のよさに気付く	4 グループで写真を見せ合い、「作品名を当てるクイズ大会」を行う。 〔作品名を当てるクイズ大会の主な内容〕 ○「何に見えるでしょうか。」 ・顔みたいに見えてきたよ。 ・いろいろな色があるから虹かな。 ・よく見ると、ここが鼻でゾウにも見えてきたよ。 ○「質問してみよう。」 ・見付けたとき、どう思いましたか。 ・どんな形を見付けましたか。 ・何色が気になりましたか。 ○「作品名は何か考えよう。」 ・いろんな色があるから、虹色のゾウさんかな。 ・目が笑っているように見えるから、にこにこゾウさんかな。 ・みんなどんな作品名にしたのかな。 ○「作品名と解説を聞こう。」 ・なるほど。『ハッピースマイルゾウさん』か。かわいい名前を考えたね。 ・ピンクの色からハッピーと考えたのかな。 ・ゾウの鼻の形は気付いたけど、耳の形も隠れていたんだね。 グループで撮影した写真を囲み、形や色、構成の視点を基に作品名を考えさせるようにする。 発表方法と発表順の確認を行った後、ストップウォッチを持たせることで、各班がスムーズに進行できるようにする。 写真に、発表者が描き入れた透明シートを被せ、何に見えるか考えるためのヒントにする。 作品の解説を発表させることで発表者の作品の形や色、構成の捉え方を知り、それらの面白さを味わわせる。
5	新しいものな意思	5 本時の学習を振り返り、次時の学習への意欲をもつ。 ・自分の感じ方と違う感じ方を知ることができて楽しかったです。 本時の学習で思ったことや感じたことを発表させながら、次の活動への期待感をもたせる。

※ 見付けたものの形や色、構成の面白さなどを感じ取っている。

(活動・ワークシート)

- クイズ大会に積極的に参加している子どもには、友達に声を掛け、一緒に考えるようにする。
- クイズ大会に積極的に参加できていない子どもには、何に見えるのかを1つずつ尋ねながら自分らしい見方や感じ方を価値付ける言葉掛けを行い、活動に自信をもたせていく。

